

委員会	戸倉小学校区	議会答弁
議会全体及び 総務文教常任委員会	<p>1月号の市報から、令和元年度決算について以下5点について伺う。</p> <p>①経常収支比率が硬直化していること ②財政力指数は19市中14番目である ③積立金残高比率は20～50%が適正だが、千曲市は74%を超え有効な事業が実施されていない。 ④地方債残高比率が200%を超えると厳しくなるが、199%になっている。 ⑤将来負担比率49.2%は県内15番目5点について議会の議論と見解は。</p>	<p>①について 硬直化は進んでいます。だからこそ行政改革を進めなければなりません。その一つとして公共施設再編計画が進められています。</p> <p>②について 市の自主財源を増やすため、企業誘致や人口増加策として、インフラ整備による流入人口増や農地を整備し産業団地に企業を誘致していくなど、固定資産税の増加や労働人口の増で市税を増やしています。行革との両立で、財政力指数を上げていきます。</p> <p>③について 基金は条例によって目的別に積み立てており、すべて自由に使えるわけではありません。将来必要な事業のために積んでおり、必要に応じて使っていきます。</p> <p>④⑤について 財政健全化という点で、他市に比べて悪いということですが、合併特例債を冠着橋の架け替えや白鳥園の建て替え、市道千曲線の整備、東小学校や戸倉上山田中学校の改築、新庁舎の建設など大きな事業に集中的に使ってきました。今は返済が始まり、ここ2年くらいがピークとなります。数字的には悪くなるが、徐々に改善されていきます。今後は、築50年を超えた保育園の建て替えも必要な事業として進めなければなりません。一気に改善することはなく、山あり谷ありは続きますが、行政がコントロールしていきます。</p>
	<p>①第三次千曲市総合計画の策定は、市長が代わったためと考えるが、第二次総合計画前期との関連を議会はどうか考えるか。 ②第二次総合計画に基づき、第二次教育振興基本計画が令和元年にスタートしている。今後どうなるのか、議会の見解。 ③議会では「総合計画及び創生戦略に関する特別委員会」が設置された。設置の議論の経過は。 ④標準財政規模を維持するため、人口減を抑えプラスに転じる施策が求められる。人口増を図る施策について、総合計画において議会でも議論を重ねてほしい。</p>	<p>①新市長がどういう思いを込めた計画にするのか、議会では3月議会で特別委員会を設置したので、一年かけてしっかりチェックしていきます。</p> <p>②第二次教育振興基本計画については、総務文教常任委員会でチェックしていきます。</p> <p>③議会の議決が必要な計画であり、そのため議長を除く全議員で特別委員会を設置することとしました。委員会では合併特例債の返済が始まり財政の逼迫が懸念されるため、まず第二次総合計画前期計画の検証をする予定です。また、自治体のデジタル化が速いテンポで進んでいるため、従来のように10年計画か5年計画がよいのかも研究していきます。</p> <p>④標準財政規模について、『自主財源を増やすには人口増を図るべき』はもっともなことであり、若者が市内に定着できる環境や、安心して子育てできる環境を継続的に整えることを提言していきます。</p>
	<p>平成27年度「千曲市家庭教育支援条例」が議員立法で制定された。この条例には国や県の上位法はない。他の自治体にもほとんどないが、条例制定の経緯は。</p>	<p>・ある議員の提案で、策定委員会がつくられ協議しました。 ・H27年に議員から提案され、策定委員会を中心に先進地の条例研究を行いました。教育の分野だけでなく、保育・人権・男女共同参画・地域の関わり等幅広い分野から家庭教育を支援することについて調査研究を行いました。賛成・反対の議論は拮抗したが、最終的には多数決で可決されました。H28.4.1施行、4年が経過しました。毎年ホームページで条例への報告が上がっています。改正が必要であれば、ご意見をいただきたいと思えます。</p>
	<p>議会の意味について。 市民は、ネットで行政や市長に直接提案できる。知り合いの議員を通して要望もできる。議会は、自主財源の増加策や福祉予算の確保を、知恵を出して提案しなければ存在価値がないのではないか。行政に対してチェックだけなのか。市民はネットを通じてチェックできる。議員としての本来の役割が果たせていないのではないか。</p>	<p>○市長に個人で提案することもできますが、個人の意見であり市民を代表した声ではありません。議会は地域や世代・ジェンダーの代表であります。市民から選ばれた議員は、市長や行政全体と意見を戦わせ、正しい方向に進むためにチェックし、提言していくのが議会の役割と考えます。</p>
福祉環境常任委員会	<p>上山田戸倉市民窓口について 4月1日から旧上山田庁舎に開設された。戸倉にも磯部という庁舎から離れた地区がある。どのように考えているか。</p>	<p>○現在市では、公共施設の統廃合を進めています。昨年の市長選の折、小川市長が上山田地区市民窓口設置を公約に掲げ、当選されました。建物を増やすのではなく、旧庁舎にネットワーク機能を復活させたもので、磯部の皆さんにも使っていただきたい。 ○戸倉地区の区長会は、磯部・福井・五加も含めて(窓口の)必要性は感じないということでした。</p>
	<p>戸倉は高齢化が進んでいる。空き家が非常に目立ってきている。5～10年後老人が庁舎へ行けない状態が増える。行政サービスの悪化をどう考えるか。</p>	<p>○高齢化が進む中、出てくる様々な課題について、今後もしっかり検討していきます。 →委員会審査・協議、提案</p>
	<p>コロナ禍の中、千曲市は注意喚起が足りないのではないか。</p>	<p>○コロナ対策を担っている担当課は、よく対応していると感じます。市長もケーブルテレビで注意喚起をしていました。車での広報も回っており、ワクチン接種についても必死に取り組んでいます。→今後も市民の命を守るための更なる施策を、委員会でも市に対応を求めています。</p>
建設経済常任委員会	<p>市長に直接頼めば何でもできるという声について</p>	<p>○3月議会で屋代大規模開発地域に、市道一重山2号線を開発するための予算が計上されました。 これまでこの市道について、行政からは何も説明がありませんでした。委員会ではこの予算を認められないという意見が出され、討論・採決の結果、委員会として市民への説明不足を指摘し、本予算に3項目の付帯決議をつけることとし、その後、本会議で可決されました。市長が十分な説明がないまま予算を通そうとしたときは、しっかりとチェック機能を働かせるとともに、より市民目線の提案もして参ります。</p>
	<p>県道内川篠ノ井線について 今のルートは実現不可能である。期成同盟会は辞めた方がよい(解散) 千曲市の持っている資源、地域と行政の関わりを具体的に検討して、総合計画の理念として活用してほしい。</p>	<p>○現在のルートの実現性や、戸倉地区の会費負担についても含め、期成同盟会の場で議論するよう促していきます。また、総合計画の策定については、議会としても十分に研究し、市長部局と対等の立場で市民の声をお聴きしながら臨んでまいります。</p>